

# 環境報告書

2019年度のまとめ



とちぎ"コープ"

食卓を笑顔に、地域を豊かに。

## 理念

# CO-OP ともに はぐくむ 暮らしと未来

私たちは、一人ひとりが手を取りあって、  
一つひとつの暮らしの願いを実現します。  
私たちは、ものと心の豊かさが調和し、  
安心してらせるまちづくりに貢献します。  
私たちは、人と自然が共生する社会と  
平和な未来を追求します。

## 環境方針

とちぎコープは、「環境に配慮した暮らし」と「持続可能な循環型社会の実現」を目指して、コープデリグループの共通の理念とビジョンのもと、店舗・宅配における商品の供給及び取り扱う商品・サービスのあらゆる面で地球環境に配慮して行動します。

事業活動を通じ環境負荷を低減する仕組みをつくり、定期的な見直しと環境マネジメントシステムの継続的な改善によって、地球環境保全と汚染の予防につとめます。

また、環境保全に関する法規制およびとちぎコープが受け入れを決めた事項を順守します。

1. 地球温暖化防止につながるCO<sub>2</sub>削減に取り組みます。
2. 廃棄物の削減と再資源化をすすめます。
3. 組合員とともに環境活動に取り組みます。

とちぎコープ生活協同組合  
専務理事 塚原 政雄

## 2019年度の取り組み

### 環境方針（1） 事業活動に伴う二酸化炭素排出の削減

地球温暖化をはじめとする地球環境問題は、人類の生存に関わる問題とされています。とちぎコープは、日本生協連の呼びかけのもとコープデリ連合会とともに「温暖化防止自主行動計画」を作成し、2020年度の二酸化炭素の排出量を基準年（2005年度）の5,313トンから15%削減し、4,516トンにする目標を掲げています。

**【目的】2020年度のとちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出量を2005年度対比86.8%以下にします。**

**【2019年度目標】**とちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出を4614.5トン以下にします。

○ 二酸化炭素排出量の推移 CO2（トン）

主要な排出項目	2005年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
電気	3,833	3,669	3,534	3,433	3,253
電力会社変更効果 (実排出係数使用)		-379	-1,484	-1,392	-1,719
車両燃料	1,365	1,465	1,500	1,525	1,524
LPG	97	34	35	32	32
灯油	17	10	10	4	6
合計	5,313.1	4,799.2	3,595.7	3,601.4	3,095.9

電気の使用によるCO<sub>2</sub>の排出量は2015年度までは基準年の2005年度の排出係数0.423 kg/kWhを使用して計算していましたが、2016年度以降はその年の実排出係数を使用することにしました。

2019年度は電気の使用量を削減するとともに、株式会社地球クラブ

からの電力の排出係数が0.210 kg/kWh、出光グリーンパワーからの電力排出係数が0.288 kg/kWhでしたので1481.4トンの削減効果があり、二酸化炭素排出量は3095.9トンで、今年度の目標を大幅に下回る計画比67.1%で達成できました。

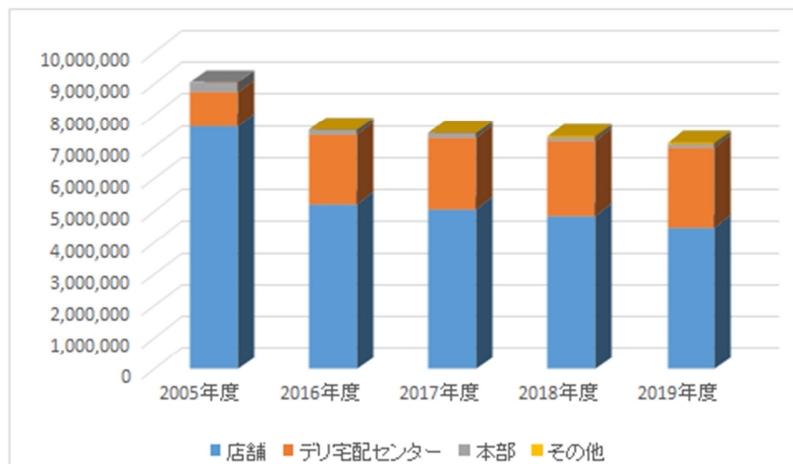


【個別目標1】電力使用量を7,274,400kWh以下にします。

○ 電気使用量の推移 単位 kWh

業態	2005年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
店舗	7,669,956	5,226,384	5,074,106	4,860,770	4,506,773
デリ宅配センター	1,072,422	2,196,573	2,241,893	2,348,447	2,479,755
本部	319,449	117,521	116,400	109,514	107,457
その他		9,232	7,850	15,795	24,474
合計	9,061,827	7,549,710	7,440,249	7,334,526	7,118,459

店舗では不要な照明の消灯や事務所のエアコンの設定温度の見直しなどのこまめな節電対策の他、店舗の改装時に高効率の冷凍冷蔵庫への入替えや冷気が逃げにくいリーチインショーケースの導入などを行っています。



デリ宅配センター

ではドライアイスの代わりに繰り返し使用できる冷凍蓄冷材に切り替えを進めていますが、蓄冷材凍結庫を増設したことで使用量が増えました。

全体では計画比97.1%、前年比97.8%と目標達成しました。

【個別目標2】自前配達車両燃料の使用量を188,000L以下にします。

○ 車両燃料使用量の推移 単位 L

燃料種別	2005年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
ガソリン	59,568	148,378	140,992	138,742	138,361
LPG	59,364	0	0	0	0
軽油	429,510	427,114	446,793	458,220	458,436
内 自前配達分	230,942	166,136	173,458	182,057	184,539
BDF	0	17,939	1,799	0	0

ガソリンは営業スタイルを変更し効率の良い組合員勧誘活動を行うことで使用量を削減することができました。それとエコドライブの実践による燃費の向上と、地図システムを活用した配送コースの見直しによって走行距離の短縮に努めています。また本部車両もハイブリッド車両の導入によってガソリン消費量を削減してきています。

## 環境方針（2） 廃棄物の削減と再資源化

【目的】廃棄物の削減と再資源化を進めます。

【2019年度目標】事業系一般廃棄物の排出量を前年実績以下にします。

○ 業態別の排出量の推移 単位 k g

業態	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
デリ宅配センター	32,052	31,822	30,937	26,788	27,910
SM店	94,730	85,710	82,646	88,252	84,440
ミニ店	9,265	9,152	8,227	5,780	1,385
本部	1,310	1,500	2,050	1,480	1,490
合計	137,357	128,184	123,860	122,300	115,225

デリ宅配センターでは8月以降、廃棄物の排出量が増加しましたが、とちぎコープ全体では計画を達成しました。

【事業活動で排出する廃棄物の発生抑制と再資源化の推進】

○ 廃棄物の排出量の推移 単位 k g

種類	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
魚腸骨	44.3	35.6	30.6	27.4	27.4
廃食用油	14.8	16.5	18.0	15.7	16.0
生ゴミ	118.0	120.2	119.8	123.9	125.1
魚箱(発泡スチロール)	7.0	6.4	6.4	6.2	5.9
ダンボール	407.9	383.4	368.4	358.7	351.5

廃棄物の排出量は事業の伸張とともに増加傾向にあります。基本的に全量をリサイクルしています。食品廃棄物では、魚腸骨は家畜の飼料に、廃食用油はインクや飼料・BDFなどにリサイクル利用されています。また生ゴミから作られた、たい肥で育てた野菜を越戸店で販売する「リサイクルループ」を行っています。食品廃棄物のリサイクル率は98.2%となっています。

【レジ袋の削減】

とちぎコープは2009年12月に栃木県や市町との間で「レジ袋削減に関する協定」を締結し、全てのお店でレジ袋を有料化しています。マイバッグ持参の取り組みを進め、持参率は81.3%になりました。年間で212.6万枚のレジ袋を削減できました。販売したレジ袋は48.8万枚で、販売代金の中から47万7千円をNPO法人「足尾に緑を育てる会」に、植樹の苗木代として寄付しました。

## 環境方針（3）組合員とともに取り組む環境活動

【目的】環境活動に参加する組合員を増やします。

【2019年度目標】リサイクル品の回収量を2018年実績に対し5%増やします。

【組合員さん参加のリサイクル】

○ 資源物の回収量の推移 単位 トン

コープデリ宅配ではリサイクルの案内チラシを4回配布し、また担当者ニュース等でもお知らせを強化しました。ペットボトルや卵パック、内袋などが増えてきましたが、ハピデリなどの配布数量の減少により、商品案内チラシ等の回収量は減少して合計で前年比0.3%減となりました。

### 【その他の環境活動】

種類	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
ペットボトル	43.7	43.6	45.4	50.5	53.3
食品トレイ	8.2	7.8	7.4	8.0	8.3
ミールキット	—	—	—	0.2	1.0
紙資源	2,097.0	2,297.0	2,519.5	2,700.2	2,685.1
紙パック	49.6	49.2	49.6	50.6	50.7
アルミ缶	7.6	7.6	7.7	7.8	8.2
卵パック	6.0	7.3	9.1	9.8	11.4
シッパー内袋	24.5	27.4	30.7	32.1	33.0
回数合計(トン)	2,236.6	2,439.9	2,669.4	2,859.2	2,851.0

お店のイートインコーナーでクールシェアやウォームシェアに協力しました。家庭や職場などで眠っている賞味期限内の食料品を寄贈していただく「フードドライブ」にスーパーマーケット全店の他に7月からはデリ宅配全センターでも取り組みを開始しました。寄贈品は6,122点・2420.4kgとなり、「NPO法人フードバンクうつのみや」から食料品を必要としている団体や施設などに無償で提供されています。また、包括連携協定を締結している鹿沼市にも寄贈しています。

足利ブロックではNPO法人「名草里山の会」とともに「田んぼの学校」を開催し、のべ54家族196名が参加しました。農業体験や自然観察を行い、環境や自然の循環、食育について学びました。

「我が家のグリーンカーテン大作戦」は5年目となり140名の組合員さんから応募をいただきました。

「ECOテック&ライフとちぎ2019」に栃木県生活協同組合連合会の一員として参加しました。

マロニエプラザで開催した「とちぎコープフェスタ in うつのみや」では、「プラスチックごみについて考えてみよう」のパネル展示やエコバッグ作り、また環境の取り組みで自分ができることを魚の形のカードに書いてもらい、壁に貼った「コープの海」に772人の方に貼っていただくことができました。お子様連れの来場客が多く、ご家族で環境問題について知り考える機会となりました。

# その他の主要パフォーマンス項目の進捗状況

## 【環境配慮商品の普及】

**環境に配慮した商品の取り扱いの拡大、情報提供の強化、ご利用の拡大を推進します。**

組合員みなさんに、積極的に環境に配慮した商品を提供すること、及び、それらの商品や環境に関する情報を提供することなどを、とちぎコープの事業活動において、環境に有益な影響を及ぼす課題として取り組みをすすめました。

※2019年度データは2月度末時点の集計

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
点数	1,070,199	1,291,145	1,650,250	1,929,616	<b>2,904,496</b>
金額(千円)	369,093	457,740	586,461	681,285	<b>832,824</b>

対象商品：

環境負荷が見える化した ①カーボンフットプリント商品、(それぞれのメーカーが商品の原材料の調達・製造から廃棄リサイクルまでのすべての過程で排出される二酸化炭素の量を商品に表示したもの。)

外部基準の環境マークの付いた商品

②エコマーク ③グリーンマーク ④MSC(海洋管理業議会)海のエコラベル ⑤ASC(水産養殖管理協議会) ⑥MELジャパン(マリン・エコラベル・ジャパン) ⑦レインフォレスト・アライアンス認証 ⑧有機JAS ⑨特別栽培農産物 ⑩FSC(森林管理協議会)

2019年度は外部基準の環境マークの付いた商品の取り扱い数が増えたため(前年比119.2%)、利用点数も前年比で150.5%(2月度時点)増加しました。

## 【エコキーパー事業所】

栃木県では、事業所における自主的な地球温暖化対策を推進するため、事業活動において地球温暖化対策に関し優れた取り組みを実施している事業所を「エコキーパー事業所」として認定する制度があります。とちぎコープではスーパーマーケット4店舗が3星ランクで認定されています。

# 環境マネジメントシステムに関すること

環境マネジメントシステムを本来業務システムの一環として推進しています。

## 【従事者の教育・訓練】

「とちぎコープEMSガイドブック」2019年版を作成し、定期教育を実施しました。9月末までに全事業所で終了しました。

## 【コミュニケーション】

組合員のみなさんのご意見・ご要望は、「組合員の声」担当部局が中心に管理しています。業務に関連するものはそれぞれの担当部局、環境が中心のものについては環境マネジメント事務局が対応し、回答が必要なものについてはすべて回答しています。

2019年度は、行政等への報告や、住民へのお知らせが必要となる重大な事故はありませんでした。

## 【法令の監視と順守状況】

日本生協連の「環境ニューズレター」や、法令関係のホームページにより情報を入手し、新しい法律や、法令の改定を監視しています。県・自治体の条例については、ホームページや担当職員へのヒアリング等を通じて、最新情報の把握に努めています。

浄化槽の管理や廃棄物の保管・処理など、日常の管理が必要なものについては、月々の進捗管理の中で実施状況を管理しています。産業廃棄物マニフェストは、産業廃棄物排出事業所で発行し、発行後は総務と環境マネジメント事務局で管理しています。容器包装リサイクル法については、指定法人と再商品化委託契約を結んで対応しています。食品リサイクル法および省エネ法の定期報告を行っています。その他の法令・条例およびその他の要求事項についての順守状況については、毎月の常務会で報告し不適合が無かったことが確認されています。



## 【とちぎコープの概要】

(2020年3月現在)

理事長	古口 葉子
組合員数	260,687人(加入率32.4%)
出資金	77億1413万円
事業高	275億6521万円
職員数	正規295人、定時621人(計916人)

### 事業所

#### ○ 配送センター 7ヶ所

- 西那須野センター(那須塩原市)
- 芳賀センター(芳賀町)
- 日光センター(日光市)
- 宇都宮センター(宇都宮市)
- 壬生センター(壬生町)
- 小山センター(小山市)
- 足利センター(足利市)

#### ○ スーパーマーケット(SM店)4店舗

- コープ越戸店(宇都宮市)
- コープ鶴田店(宇都宮市)
- コープおもちゃのまち店(壬生町)
- コープ栃木店(栃木市)

※生協直営の売場面積450坪タイプのスーパーマーケット

#### ○ ミニコープ 2店舗

- コープ野木店(野木町)
- コープ富岡店(佐野市)

※売り場面積50坪タイプの小型店

※2019年7月閉店

#### ○ 移動店舗 2ヶ所

- 越戸(宇都宮市)
- 鶴田(宇都宮市)

#### ○ とちぎコープ本部(宇都宮市)

発行日 2021年1月21日

とちぎコープ生活協同組合

環境管理責任者 黒須 正文

〒321-0195 栃木県宇都宮市川田町858

T e l (028) 634-5115 F a x (028) 634-5114